

2016 年度日本語教育学会研究集会 第 8 回

【研究発表・講演】中国地区（山口）

日時：2016 年 12 月 10 日（土）10：00-17：25（受付開始 9：30）

会場：山口大学吉田キャンパス 大学会館（〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1）

交通：吉田キャンパスまでのアクセスについては、下記 URL をご覧ください。

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/13/616.html>

※当日は公共交通機関でお越しください。

参加費（予稿集代）：500 円 ※ランチタイム交流会のみ要事前予約。その他の参加は予約不要。

問合先（担当地区委員）：永井涼子（山口大学留学生センター）

E-mail：nagair@yamaguchi-u.ac.jp ※@は半角の「@」にかえてください。

主催：公益社団法人 日本語教育学会

後援：山口大学

当日の流れ：

09：30	受付開始	
10：00-10：10	開会式	第一会場（兼休憩室）：会議室
10：15-11：45	研究発表（口頭発表）【第一部】	第二会場：セミナー室, 第三会場：第二集会室
12：00-13：00	ランチタイム交流会	第一学生食堂「ポーノ」
13：10-14：10	研究発表（ポスター発表）	第一会場（兼休憩室）：会議室
14：10-15：40	研究発表（口頭発表）【第二部】	第二会場：セミナー室, 第三会場：第二集会室
15：45-17：15	講演	第一会場（兼休憩室）：会議室
17：15-17：25	閉会式	第一会場（兼休憩室）：会議室

10:00-10:10 開会式 第一会場（兼休憩室）：会議室 司会：宮永愛子（山口大学）

10:15-11:45 研究発表（口頭発表）【第一部】

第二会場：セミナー室 司会：金愛蘭（広島大学）

10:15-10:45 総合型日本語人材の養成に向けてアカデミックスキルと専門をつなぐ
—日本研究入門テキストを使用した教育実践の分析から—
松永典子（九州大学）

10:45-11:15 環太平洋大学グローバルスタディセンターにおける予備教育
—よりよいコース運営を目指して—
小野寺志津（環太平洋大学），安原凜（同）

11:15-11:45 インプロヴィゼーションの実践的活用法—ゲームの三分類に基づく授業案の提示—
隈上麻衣（長崎大学），宮本万里（Creative Communication Company）

第三会場：第二集会室 司会：中溝朋子（山口大学）

10:45-11:15 「N1におけるN2」についての連語論的観点からの一考察

—デノ格の連語との比較を通して—

大平真紀子（環太平洋大学）

11:15-11:45 韓日シナリオ集から見た日本語と韓国語のアスペクト形式の対応関係

—「-テイル」形とそれに対応する韓国語のアスペクト形式を中心に—

李在鉉（広島大学大学院生）

12:00-13:00 ランチタイム交流会（要事前申込） 会場：第一学生食堂「ポーノ」

中国地区研究集会では初めての試みとして、ランチタイム交流会を実施します。講演講師の先生をはじめ、発表者の方々と気軽に情報交換ができる貴重な時間としてどうぞご参加ください。会費は2,000円（飲み物代、税込）です。事前の申し込みが必要です。ご参加くださる方は、11月23日（水・祝日）までに担当地区委員までお申し込みください。

13:10-14:10 研究発表（ポスター発表）

第一会場（兼休憩室）：会議室 会場責任者：守谷智美（岡山大学）

- ・体験型短期日本語研修における上級クラスの課題と対応
—書きことばの学習と日本研究を中心に—
池澤明子（西南学院大学）
- ・イラストを使用した学習の効果測定 —留学生の格助詞の習得について—
上坂宗万（東京福祉大学）
- ・日本語学習者音声コーパスの設計と構築 —中間報告—
金愛蘭（広島大学）、李在鉉（広島大学大学院生）、山崎優華子（広島大学大学院生）
- ・視点表現の使用にトピックが与える影響 —日本語母語話者のナラティブの分析を通して—
末繁美和（岡山大学）
- ・やさしい日本語によるSAI（Self-Administrated Interview）の開発
羽渕由子（徳山大学）、立部文崇（徳山大学）
- ・日本事情および異文化交流クラスにおけるルーブリックを用いた対話的教室活動の試み
—学部留学生および日本人学生によるルーブリックの記述の分析を中心に—
福岡寿美子（流通科学大学）
- ・留学生はコミュニティへの参加をいかに経験しているのか
—複線経路・等至性アプローチ（TEA）による過程の記述から—
山本晋也（徳山大学）

14:10-15:40 研究発表（口頭発表）【第二部】

第二会場：セミナー室 司会：山本冴里（山口大学）

- 14:10-14:40 日本語教育への ICT 導入に関する考察
—日本語教育機関へのインタビューから考える ICT 導入—
立部文崇（徳山大学）
- 14:40-15:10 共話的観点から見た言いさし文の形態に関する一考察
伊藤亜紀（南山大学大学院生）
- 15:10-15:40 授業評価における「失敗」の観点
—FishWatchr を活用した日本語模擬授業の評価実験—
西谷まり（一橋大学）

第三会場：第二集会室 司会：小林明子（島根県立大学）

- 14:10-14:40 在日インドネシア人コミュニティにおける子どもたちの言語習得
—対話型アセスメント，インタビュー，参与観察を用いた予備的調査報告—
吹原豊（福岡女子大学），助川泰彦（首都大学東京）
- 14:40-15:10 構成的グループエンカウンターを活用した授業における教師のビリーフの変化に
関する事例研究
影嶋知香子（横浜デザイン学院）
- 15:10-15:40 聞き手との対話を意識したプレゼンテーション教材開発の試み
仁科浩美（山形大学），鎌田美千子（宇都宮大学）

15:45-17:15 講演 第一会場（兼休憩室）：会議室 司会：赤木弥生（山口大学）

「地域日本語テキスト『おいでませ山口』1～5 の役割と今後の課題」

講師：林 伸一氏（山口大学）

17:15-17:25 閉会式 第一会場（兼休憩室）：会議室 司会：宮永愛子（山口大学）

以上